

個に応じた歯科保健指導

名古屋市立八社小学校

本校の学校保健活動では、学校教育目標「仲よく 強く 正しく」を受けて、「からだところの健康に関心をもち、生涯に渡って健康になろうとする子」の育成を目指してきました。

27・28年度は、自分の歯や口の健康状態を知ること、個々に課題を見つけて歯みがきに取り組めるようにし、また、学校歯科医や学級担任、保護者と連携して、子どもたちが生涯にわたって健康でいられるような生活習慣の定着を目指して、以下のような実践を行いました。



学校歯科医による歯肉炎予防の指導を4年生対象に実施しました。歯垢染色を行って自分の歯や口に合った歯みがきの方法を勉強し、デンタルフロスの使用方法も学びました。



学校歯科医の先生から歯肉炎の原因や予防方法を聞きました。



デンタルフロスを実際に使いました。昼の歯みがきでも練習します。

自分の歯・口に合った
みがき方を学ぼう！

デンタルフロスを
使ってみよう！



歯垢を染色して、自分のみがき残しの場所を知りました。



「歯みがきカルテ」の活用



健康診断の結果を生かした個別の指導を行いました。子どもたちは、個々の「歯みがきカルテ」を通して検診結果を知り、自分の歯・口の様子を写真で観察しました。

また、保護者の方に「歯みがきカルテ」にコメントをいただきました。子どもたちにとって保護者の方からの言葉が励ましの言葉となり、歯みがきの意欲向上につながりました。治療率も向上し、家庭での歯科保健への意識が高まりました。



歯みがきで改善した歯肉炎

秋の検診に向けて、昼の歯みがきタイムを実施しました。右の通り、歯肉炎の程度を現すPMA指数は大幅に減少し、歯肉炎が改善されたことがわかります。子どもたちは、歯みがきを続けることで健康になることを実感することができました。

